

平成30年度学校関係者評価報告

1. 日 時 平成30年6月26日(火) 14時～17時

2. 場 所 愛仁会看護助産専門学校 2階 会議室

3. 出席者

評価委員：4名

(業界関係者) 松原正明(愛仁会本部 局長)

(業界関係者) 井上裕美子(愛仁会本部 看護統括部長)

(卒業生) 西原伸美(井上病院 看護部長)

(看護学校) 台野悦子(明石医療センター附属看護専門学校 副学校長)

学校出席者：6名

清水富男 愛仁会看護助産専門学校 学校長

小森孝子 愛仁会看護助産専門学校 副学校長

真島久美子 愛仁会看護助産専門学校 看護学科教育主事

岡村稔子 愛仁会看護助産専門学校 看護学科教育主事

増本綾子 愛仁会看護助産専門学校 助産学科教育主事

松田孝緒 愛仁会看護助産専門学校 事務部長

4. 会議の概要

- (1) 昨年度の評価結果コメントに対して
- (2) 昨年度との相違点説明
- (2) 事前評価資料からの質疑応答及び書類審査
- (3) 施設内調査
- (4) 評価者協議
- (5) 講評

評価項目については、自己点検・自己評価報告書の基準に基づき以下のとおり実施した。

- | | |
|-----------------|---------------|
| I 教育理念・目的・育成人材像 | VI 教育環境 |
| II 学校運営 | VII 学生の募集と受入れ |
| III 教育活動 | VIII 財務 |
| IV 学修成果 | IX 法令順守 |
| V 学生支援 | X 社会貢献・地域貢献 |

5. 評価結果

評価項目 全項目について「可」の評価

6. 今後の取り組み

学校の質の向上に対し、職業実践専門課程の取得に向けて、各評価委員からの貴重なご意見を頂き、今後も医療機関との連携や実践的な看護職育成に向けた教育活動や学校運営に取り組み、より良い教育を目指します。

以上

平成29年度 評価

	自己評価	学校関係者評価
I 教育理念・目標	2.6	可
	理念等は文書化し周知に努め、育成人材像も現状とプロセスに記したとおり病院等の人材ニーズに適合したものであると評価する。	自校の評価通り
II 学校運営	2.6	可
	運営方針は、教育理念、教育目的を踏まえて、事業計画の中で文書化され明確となっており、職員会議で全職員へ周知されている。	自校の評価通り
III 教育活動	2.6	可
	教育理念から教育目的・教育目標・期待される卒業生像を「STUDY COMPASS」「STUDY GUIDE」に明文化することで、教職員および学生にも理解でき、一貫した教育が実践できていると考える。	自校の評価通り
IV 学修成果	2.6	可
	教育理念・教育目的から看護師、助産師として100%の就職率を目標として掲げ、毎年ほぼ100%の就職率を確保できている。	愛仁会グループ病院と協力し就職セミナー等を実施することで、愛仁会グループ病院への就職率の向上を図ることができていることは高く評価できる。
V 学生支援	2.4	可
	進路指導、学生相談などの支援、奨学金などの経済支援を積極的に行っている。	メンタルサポート体制の強化が望まれる。
VI 教育環境	2.7	可
	施設設備、教材教具は法令基準に適合し、かつ、教育目的の達成を目指し、知識・技術の両面から実践力を育てる環境として充実している。	シミュレーター、備品などの教育環境が充実しているため、より効果的な活用を期待します。
VII 学生の受け入れ募集	2.9	可
	学生募集について広く広報に努め、内容に関しても入学希望者だけでなく、その保護者や高等学校教職員まで丁寧な説明を心掛けている。	より質の高い学生を確保するための取り組みをされている。
VIII 財務	2.6	可
	財務基盤に関しては、社会医療法人愛仁会の強固な財務基盤により、学校単独の収支状況の影響なく運営が行える状況にある	外部監査の実施に向けて適正な処理を行っている。
IX 法令等の遵守	2.8	可
	法令や専修学校設置基準等を遵守した学校運営に取り組んでいると評価する。第三者評価の受審結果を公表している。	自校の評価通り
X 社会貢献・地域貢献	1.8	可
	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献については、貢献できていると評価する。また、学生にボランティア活動の意義を醸成するための取り組みを進めていく。	自校の評価通り
評価基準	3：適切 2：ほぼ適切 1：やや不適切 0：不適切	可：基準を満たしている 否：基準を満たしていない